



僕の世界は狐ちゃんに
My world is surrounded by foxes 囲われている



ちゃんと
聞いてるって

なんで寝た
フリなんて
するんですか！



寝たフリ
しないで
くださいっ!!

〇〇くん…
起きてくださいっ



もうみんな
帰っちゃいましたよっ

一緒に帰りま
しょうよ！

地味で
ぼっちな僕が

なぜかこの子に
付き纏われている

やり過ぎそうと
思ったのに！

狐森さん……

なんで僕なんか
構うんだ

ひとりぼっちに
なんかしませんよ！

わたしがいるかぎり
安心してください！

僕は一人が
いいんだけど……

チカラ強っ

それに……

狐森さんと
話したあと……

？

なんです？



ほら一緒に
帰りましょう！



もうっ
本当に寝てたんじゃ
ないですか？

なんでもない



こんな
かわいい子が

僕なんか
構ってるのも
おかしいんだけど

あまり遅いと
変な噂され
ちゃいますよ？

僕と狐森さんで
そんなのあるわけ

もう一つ
気になる点がある

ちよつとは
ノッて
くれてもっ！



狐森さんには

耳と尻尾
がある



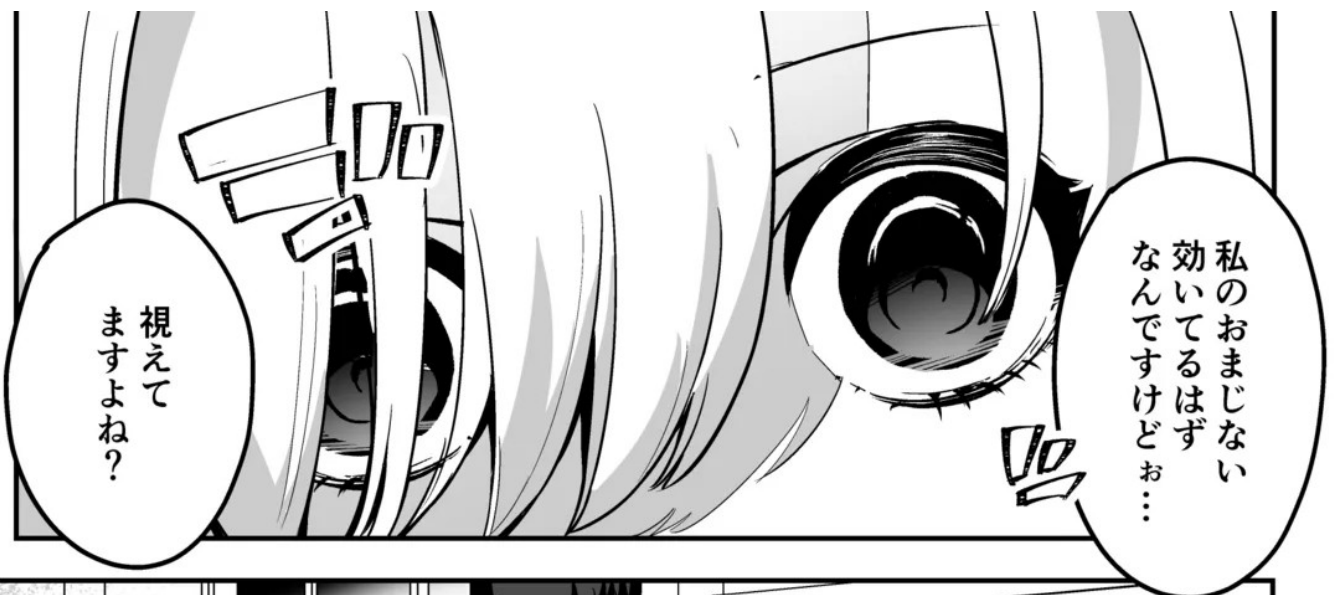
帰るんじゃない

……どうしたの
狐森さん



あれ
おかしいですね

ん！



私のおまじない効いてるはずなんですけどお…

視えてますよね？



見えてるってその耳と尻尾って

もー〇〇くん なにかこう

霊能力者の家系だったりします？



私は妖狐 だったのですっ！

お気づきの通り……

狐!?



口封じ!?

ラブホじゃん!

なんの目的でっ!

誰にも邪魔
されない
ところですよ



あれ
裸に
なってる!

狐っ子なんて
あるわけ



どこだここ!!



決まってるじゃ
ないですか

目的:



〇〇くんを
墮とすための

私からの
イチャラブエッチ
おまじない
です♡



他の人には
かかるのに
なぜ〇〇くんだけは
効かないのでしょうか…

あ



まあ今回も
気づかれて
しまったので
ここだけ消して
やり直しですね

ん



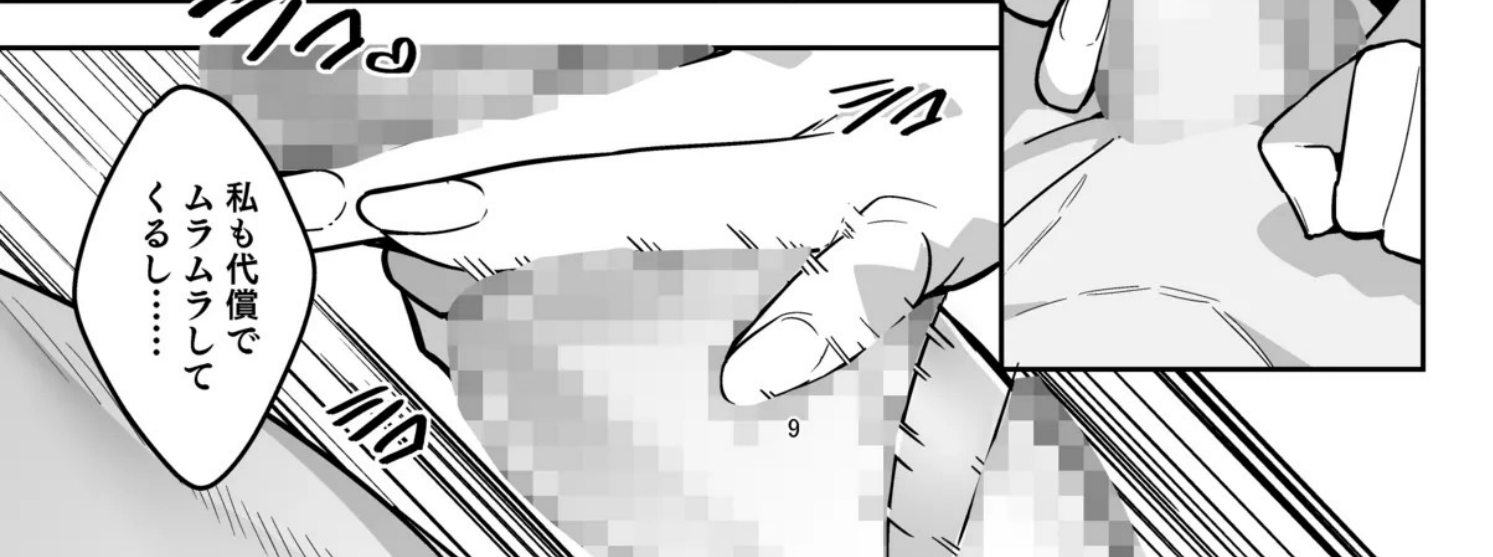
徐々に強力なのを
かけてたら
ダラダラと
こんなことに…

ちゃ

認識を変える
恋人になる
おまじない

なんです…

ん



私も代償で
ムラムラして
くるし…





こうなったら

暴走して
しまうかも
しれませんが
封を解きます



ここまで
覚悟させた

〇〇くんが
悪いんです
からね...!

〇〇くんが
私を惚れさせたのが
悪いんですっ



私の妖力を
全部注ぎ込む
ことで

さいっっっこのうの
快楽を享受させて
あげます♡

これでバキバキに
勃起するはず……



その代わり
いくら懇願しても
お漏らししても

私が

いいよ

と言うまで
絶対に射精
できなくなります



おちんちん
しくしくして
はち切れそう♡

おっぱい
ちゅぱちゅぱ

ちよつとずつ
むくむくっ
してきましたね♡



だあめ

だめ

でもだめ



それでもないと
満足できません♡

これまで
我慢した私の
気持ち……
それを満たす
最高の射精

そのために
私から魔法を
かけちゃいます♡

なんでも視える
○○くんですが

隠しちゃったら
どうでしょうか♡

二人の目の
届かないところで

肉を押し分けて

ひっそり
繋がっちゃう

最ツツツ高
じゃないですか？

女の子の大切な
ところ
処女を貪って
いきますよ♡

射精したい♡

射精したい♡

視えてないのに
○○くんの考えが
読めるんですっ♡

これじゃ
私が○○くんを
食べてるみたい



もっともっと
感じたいですか
れる



知りたいですか
視たいですか
ちゃっ
ちゃっ



意識がないのに
結合部なんて
見たら壊れちゃう…♡

肉と肉がぶつかる
音だけじゃ
満足できないですよね

ピッピッ

きゅ

110

うんうん

ピッピッ

好きなだけ
見て――

だから
〇〇くんが
食べられて
るところ

私のおまんこは
〇〇くんだけの
ものなんですから♡

好きなだけ
壊れてください

やっぱり
男の子なんですな

むくむく
ふくらんで
孕ませたいって



「壊れる射精
してください♡」



「さくらんぼ」



「ほみっ」



大好き
ですからっ♡

あっ♡

すき♡
すき♡
♡♡

んんん
んんん



だからっ
中ぞっ
一番オクでっ

んっ
んっ



受け止め
きれないくらい

ドクドク
溢れて...っ♡

ビク

ちよっと
やりすぎ
ましたかね



狐森さんのこと
好きなんだ



こんな回り
くどいこと
しなくて
よかった
っていうか



それかっつ！

怒い

カアアアア

好きになる。
っっておまじない
効くわけないよねっ！



それはですね

そもそも
狐ってなに？！



じゃあなにも
問題ありませんね

問題ばかり
だったけど？！



よかった……

あとがき

一応初のオリジナル本です！最初の方に何冊かあったようななかったような…

原稿自体はかなり前に完成していたパターンです。というかもう一本干している原稿があるんですが…まあよし！
今年はオリジナル3冊くらい出したいですね。BB本とメルトBBリップ本も出したい

僕の世界は狐ちゃんに囲われている！
最初はもっと怪しげな術で主人公の感度を上げてく感じだったのですがオリジナルということであまりプロット決めずにやったら結構ちんちくりんな展開になってしまいました

それでも結構かわいい感じに描けたのではないのでしょうか？(自問自答
かわいい顔をしてておっぱい大きいとかそれだけでご飯3杯はいけますね
狐ちゃんでもう一杯、すきすき具合でもう2杯

次回の構想は練っているのですが、オリジナル先輩すきすき後輩本でしょうか
ファンタジー要素はない…と思うのですがというかほんと後輩キャラが大好きですね
みんなはどう思う？(ワイト

奥付

僕の世界は狐ちゃんに囲われている！

発行日：2024年2月10日

発行者：35まち

連絡先：karyoku.up@gmail.com

印刷会社名：なし







